

「一般国道464号北千葉道路（市川市～船橋市）計画段階環境配慮書」
に対する環境大臣意見

一般国道 464 号北千葉道路は、千葉縣市川市から同県成田市までの延長約 43km の道路である。本事業はこのうち、千葉縣市川市（東京外かく環状道路（仮称）北千葉 JCT）と同県船橋市（国道 16 号）間の約 15km について整備を行うものであり、成田空港等の拠点への広域高速移動の強化、周辺道路の渋滞の緩和、災害時の緊急輸送ネットワークの強化を目的としたものである。

本配慮書に記載されている本事業の実施が想定される区域（以下「事業実施想定区域」という。）は、その設定が不連続であり、計画段階配慮事項として選定した環境要素に関し、予測及び評価の記載に十分ではない点が見られる。

また、事業実施想定区域及びその周辺は市街地が形成されており、住居及び学校、病院その他の環境の保全についての配置が特に必要な施設（以下「住居等」という。）が多数存在していることから、道路交通騒音及び排気ガスによる生活環境への影響が懸念される。

さらに、事業実施想定区域の周辺には、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（平成 28 年 4 月環境省）に選定された「市川市大町周辺の谷津田」が存在し、スナヤツメ等の希少な淡水魚類等が生息していることから、本事業の実施に伴うこれら生態系への影響が懸念される。

したがって、本事業計画の更なる検討に当たっては、以下の措置を適切に講じられたい。また、それらの検討の経緯及び内容については、方法書以降の図書に適切に記載されたい。

1. 総論

（1）対象事業実施区域の設定

今後の詳細なルート・構造の検討を踏まえた対象事業実施区域の設定に当たっては、環境の保全上重要と考えられる以下の～の区域について、事業の影響を回避又は極力低減すること。

市街地及び集落

学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設（保育園、幼稚園、小学校、中学校、福祉施設及び図書館を含む）

生物多様性の観点から重要度の高い湿地

景観資源

（2）環境影響評価の項目の選定

今後設定する対象事業実施区域及びその周辺において、上記（1）の対象が存在する場合には、当該対象への影響を十分考慮し、環境影響評価の項目を適切に選定すること。

（3）方法書以降の環境影響評価図書の作成

本配慮書に記載されている事業実施想定区域は、その設定が不連続であり、計画段階配慮事項として選定された環境要素に関する予測及び評価の記載に十分ではない点が見られる。このため、方法書以降の環境影響評価図書の作成に当たっては、対象事業実施区域の設定及び具体的なルート位置、道路構造等を明確に記載するとともに、その検討の経緯

等について、客観的な根拠となる情報も含めて、適切に記載すること。

3. 各論

(1) 大気質及び騒音等に係る環境影響

事業実施想定区域及びその周辺には、市街地が形成されており、住居等が多数存在していることから、本事業の実施による道路交通騒音及び排気ガスによる生活環境への影響が懸念される。このため、方法書以降の手續においては、周辺住居等の立地状況等を踏まえ、特に騒音影響を受けるおそれのある住居等について、影響を適切に把握するために必要な調査を実施した上で、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、環境保全措置を検討すること。

事業実施想定区域の東側では、成田空港の機能拡張工事や千葉ニュータウン内において物流施設及び工業団地等の建設工事が予定されていることから、これらの周辺地域の状況等を踏まえた最新の情報を基に本事業の計画交通量を推計した上で、予測及び評価を行うこと。

(2) 生態系に対する影響

事業実施想定区域の周辺には、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」(平成28年4月環境省)に選定された「市川市大町周辺の谷津田」が存在し、スナヤツメ等の希少な淡水魚類等が生息していることから、本事業の実施に伴うこれら生態系への影響が懸念される。このため、ルート位置及び道路構造の検討に当たっては、専門家等からの助言を踏まえた調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、環境保全措置を検討すること。

(3) 景観に対する影響

事業実施想定区域には、「大町周辺の森」等の主要な景観資源が存在するほか、事業実施想定区域の周辺には、「かまがやスカイビュー」等の主要な眺望点が存在することから、本事業の実施に伴いこれらの主要な景観資源及び主要な眺望点からの眺望景観への影響が懸念される。このため、ルート位置及び道路構造の検討に当たっては、主要な景観資源への影響を適切に把握するために必要な調査を実施した上で、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、適切な環境保全措置を検討すること。また、現地調査により主要な眺望点からの眺望の特性、利用状況等を把握した上で、フォトモンタージュを作成する等の客観的な予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、重要な眺望景観への影響を回避又は極力低減すること。